



停車場通 第3号

発行：厚別中央まちづくりセンター（厚別中央4条3丁目3-6 ☎891-3907）

厚別会館のはなし

厚別中央まちづくりセンターがある厚別会館は、そもそも50年前の昭和31年、野幌官林から木材の払い下げを受け、町内有志の労力奉仕によって建てられたもので、主に東町（現、厚別中央振興会）や西町（現、厚別西厚信会）の方々の集会所として利用されていました。



< 地域の発展に尽くされた方（2階和室） >

その後、44年6月、現在、サイクリングロードとなっている当時の千歳線の現路線への切り替え工事に伴い、停車場通沿い約100m南にあった厚別出張所（白石村が札幌市へ編入した25年に白石支所厚別分室として開設）が取壊しを余儀なくされ、その移転先として会館の一部を間借することとなります。ちなみに、このときの家賃は月額3,000円、電気料金2,045円、また、当時を偲ぶものとして汲取手数料が270円でした。

しかし、47年12月、出張所が下野幌（現在の青少年科学館）に新築、移転し

たことから、その後しばらくは専ら集会所として利用されることとなります。

そして、49年4月、厚別最初の連絡所（厚別東連絡所）が出張所あとに入り、以来、地域と行政とを結ぶ拠点として今日まで引き継がれてきました。

その間、52年5月に土地、建物が札幌市に寄付されることとなります。そもそも会館の敷地は、公共目的に先人から寄贈を受けたものでしたが、便宜上、複数人の共有名義になっていたため、将来にわたって所有権の確認に疑義が生じるおそれがあったことなどが寄付の理由です。これ以降、会館は札幌市が貸主、町内会連合会が借主、そして会館運営委員会が管理運営に当たることとなります。

また、寄付を受けた札幌市は、翌年11月、ホールの柱、梁を残して全面的に改築、地区会館としての機能を充実させ、今年28年が経過しようとしています。



< 壁の内側には50年前の柱、梁（ホール） >

なお、初代の旭町会館は昭和7年、下野幌会館は昭和12年の築です。

会館の利用状況

利用団体の半数は、町内会などの地域団体に占めていますが、各種同好会や教室の利用が定期的にあるほか、様々な団体が様々な目的により利用しています。

貸室は、1階にホール（約98畳）、2階に和室2部屋（21畳、17.5畳）とがあり、利用は時間帯を午前（8:00～12:00）、午後（12:30～16:30）、夜間（17:00～21:00）に区分して、それぞれの区分ごとに使用料がかかります。

平成17年度の利用件数は1,050件、利

用率は32.0%。残念ながら、近年、利用率は急激に低下しています。

10月1日から利用料金を改定します

料金体系が分かりづらいことと負担の公平を図るため、10月1日から料金を改定します。改定後の利用料金は、厚別会館にお問い合わせいただくか、地区ホームページでご確認ください。

建物の老朽化に伴い、利用される方には種々ご不便をおかけしていますが、今後ともご愛顧よろしくお願ひします。

数字で見る厚別中央地区

区 分		札 幌 市		厚 別 区		厚別中央地区	
居住期間	出生時から	39,416	2.5	2,236	2.1	354	1.7
	1年未満	164,340	10.6	9,120	8.5	2,488	11.7
	1～5年未満	394,973	25.5	24,498	22.7	5,840	27.5
	5～10年未満	270,730	17.5	20,389	18.9	4,920	23.1
	10～20年未満	351,955	22.7	32,456	30.1	5,099	24.0
	20年以上	303,521	19.6	17,442	16.2	2,085	9.8

平成12年国勢調査による。

地域で活動する団体・ひと

厚別しなの子ども会



厚別中央地区には、現在、5つの子ども会がありますが、厚別しなの子ども会

（田中昭夫会長）は、厚別中央振興会を母体とし、昭和43年に設立されました。

幼児から高校生まで異なった年齢の子どもたち150名と地域の大人（育成者）とによって構成されていますが、運営は主にジュニアリーダーを中心に子どもたちの手によって行われています。キャンプなどの行事を通して、生活していくための知恵を年長者から学んだり、リーダーやメンバーがそれぞれの役割を果たす中でお互い成長しあってきました。

こうした永年の活動に対して、本年6月、社）全国子ども会連合会表彰を受賞されました。（写真）

厚別中央地区まちづくり会議が管理・運営するホームページも併せてご覧ください。

<http://www.community.sapporocdc.jp/city/atsu-chuo/>

